



No.476

シリーズものは楽しい！

私はシリーズものに弱い。男性はコレクションしたがる傾向が強いということを聞いたことがあるが、そのせいだけではないかもしれない。子供時代、『週刊少年ジャンプ』で第一話を見逃したのために、コミックの一卷を購入。すると、結局大して面白くない漫画であったのに最終九巻まで買う羽目になった連載漫画があった。このような性格も、大人になって大分調整できるようになっていると思うが、シリーズものに弱いのは相変わらずである。

さて、今回はそんな私がシリーズで読んだものを紹介していきたい。継続中のものは除き、完結しているものだけに絞ろうと思う。ネタバレはしたくないので、あまり詳しく書きません。

●『風の谷のナウシカ』全七巻

『危機の時代に読み解く「風の谷のナウシカ」』（朝日新聞社）という本を購入したところ、これはどうも『風の谷のナウシカ』を読み直した方がよいなと思ったところがスタート。家中探してようやく発見した。改めて何十年ぶりに読んだが、現在読んでも全く古びていない内容に驚く。映画版とは途中から話が異なるため、興味がある方は是非読んでほしい。どのあたりがすごいのかは、『危機の時代に読み解く「風の谷のナウシカ」』を参照。しかし、当時の定価が三三〇円で、現在は倍近くなっているのが時代を感じる。徳間書店刊。

●『チ。ー地球の運動について』全八巻

娘が、「この漫画が面白いから共同で買わない？」と言ってきたのが始まり。結局誕生日プレゼントを兼ねて全巻大人買い。十五世紀のヨーロッパを舞台に、禁じられた地動説を命がけで研究する人間たちの生き様と信念を描いたフィクション。タイトルの「チ」には、「地」「知」「血」が掛けている。NHKでアニメ放送もしているが、漫画を読んでから見ようと思っている。小学館刊。

●『角川まんが学習シリーズ日本の歴史』全十五巻十四巻

娘が小学生か中学生くらいときに、学習に役立つかなと思い購入。それから十年弱は経っているだろうか。ようやく私も読破。もともと歴史が苦手でこの手の本は何度も読んだことがあるのだが、いまだに苦手。しかし、生徒には漫画を読んでいただけで歴史が得意になったという人もいる。歴史好きだけでなく、苦手な人にも読んでもらいたいと思う。勉強のためと思って読むと、人物名、年号、時代など覚えられないことが多く出てくるので、単なる漫画だと思って読む方がよいかも。私も繰り返し読もうと思っている。現在は巻数が増えているようなので、全十五巻十四巻と表記。

●『小市民シリーズ』全五巻



現在放送中のアニメの原作である。シリーズ最初の『春期限定いちごタルト事件』が二〇〇四年の刊。以降『夏期限定トロピカルパフェ事件』『秋期限定栗きんとん事件』、番外編の『巴里マカロンの謎』を経て、昨年『冬期限定ボンボンショコラ事件』が、第三作から十五年ぶりに出版され、ようやくシリーズ完結を迎えた。そしてアニメ化である。同じ作者で、古典部シリーズも

『春期限定いちごタルト事件』米澤穂信著
東京創刊社創刊推進委員

アニメ化されている。作者の米澤穂信はご存じであろうか。直木賞受賞作は重厚な歴史ミステリーだったが、本シリーズはライトノベル感覚でサクサク読める。ミステリーといってもほとんどの作品では殺人事件などは起こらず、日常生活の中で起こる謎を解いていくだけなのでご安心を。著者にはファンタジー作品もあるが、小市民や古典部のような学園謎解きミステリーが楽しく読める。

最近の作品ではないが、大作としては

●『ダルタニアン物語』全十一巻

二〇〇〇年頃だったか、たまたま復刻版を出版するということを知り購入。ダルタニアンと聞いてピンとくる人はいるだろうか？簡単に言うると三銃士の話である。アラミス、アトス、ポルトスの三銃士の出会いから始まる壮大なストーリー。三銃士の話は前半で、後半には鉄仮面の話がある。鉄仮面といえば、レオナルド・ディカプリオ主演の『仮面の男』という映画にもなっているもので、機会があれば是非。作者アレクサンドル・デュマには『モンテクリスト伯』全七巻もあり、こちらは結構冗長な部分もあるので、文庫版がお勧め。ちなみに、私は子供の頃『モンテクリスト伯』を子供向けにした『巖窟王（がんくつおう）』を読んだ大変好きになった。復刊ドットコム刊。

●『プラトン全集』全十五巻

古代ギリシャの哲学者であるプラトンが書いた本の、もちろん日本語訳。プラトンの師のソクラテスを主人公に様々なことについて述べたもの。全十五巻を読破するのに何年かかったのか。記録をさかのぼってみる。第一巻を読み終わったのが二〇〇二年一月、第十五巻を読み終わったのが二〇一一年四月。実に十年近くを要している。この

事実からも分かるように、内容が難しく読むのに時間がかかった。全巻読む必要はないが、有名な『ソクラテスの弁明』や『国家』などは読んでみてもよいと思う。岩波書店刊。

私はミステリーが好きなので、このジャンルにはシャーロックホームズやポアロなどまだまだ面白いシリーズがある。また、今回は完結したものを紹介したが、継続中のものでお勧めの作品もある。最近『星を継ぐもの』シリーズを購入した。読むのが楽しみである。それらはまた別の機会に。

（松永）

私にHSPな、人。（おぎい）

改めてHSPの定義です。「非常に感受性が強く敏感な気質をもった人」という意味です。英語では Highly Sensitive Person。病気ではなく、あくまでも気質にすぎません。五人に一人はこういう気質をもっているといわれます。前回では、二十七個の実例（まだいくらかもありますが、紙面の都合上絞りました）をあげて、セルフチェックをしていただくよう提案しましたが、いかがだったでしょうか。今回から段階を分けて話をすめたいと思います。

「一」 第一段階……セルフチェック

自分でチェックして、紙面の言葉で共感するものを選ぶ作業です。二十七個以外に思いつくことがあれば書き加えても構いません。PCに入力するのもあります。

「二」 第二段階……周りにいる現実の人間とチェック

親子でやってみる。兄弟姉妹でやる。相性のい

い友人がいれば一緒にやってみる。重なるものがあれば喜んでください。重なるものがなくても大丈夫です。自分以外の人も、「自分とは違う場面で嫌な気持ちになっているんだ」と分かれば大収穫です。周りにいる現実の人間と共感する。これで困っているのは自分だけではないという確信が強くなります。

ところで、紙ベースでチェックする理由はお分かりですか。誰でも二十七個を同時に思う訳ではありません。その日一日だけでも二時に③、五時に⑧、六時に⑩のように湧いてきます。だから親が子供の話を聞いてあげても、子供の頭の中にその瞬間にあることしかきけないということになります。だからその日の嫌な気持ちを吐き出すとき、紙ベースで対応したほうが有効になります。

【三】第二段階……解釈 【四】第四段階……分析と続きますがこれは後述します。

さて、ここで私の話をさします。前回で述べたとおり、母子家庭で生活保護をうけながら育ちました。今でもそうですが、生活保護世帯への視線は冷たく厳しいものがあります。小学生の頃、こんなことがありました。道端でもらい物のお菓子を食べていると集落のおじさんに怒鳴られる。「他人の金で生きているくせに、ぜいたくしやがって！ ふざけるな！」さすがに取り上げられることはありませんでした。私は怒られている理由は分からず、しかし、恐怖と罪悪感を抱きました。以来、外でお菓子を食べているときは気をつけるようになりました。最も衝撃的だったのは、母と弟の三人でプラモデルを買ったときのことです。原資はお年玉、私も弟も嬉しくてプラモデルを抱えて歩いていました。そこに怒声。「あんた、何考えてんだ！」驚いてふり向くと集落のおじさ

んが。「信じられない！ ぜいたくしやがって！」母に向かつて説教を続ける。母は涙ぐんで謝っている……。また中学生のときにこんなことも。私も一歳下の弟も八〇％以上の支持を得て生徒会長になり、中学校では一定のポジションを得ていましたが、弟が音楽室に怒鳴り込むという事件がありました。音楽の女性教師が授業中に「あなたたちは、他人のお金で生きているんだからね」といい、いろいろと揶揄したそうです。弟は授業中がまんしたが、腹にすえかねて抗議に行つたのでした。いくつか例をあげましたが、小さなことを含めてこんなことがたくさんありました。そして、いつしか自分の心の中に「ルサンチマン（弱い立場にあるものが強者に対して抱く嫉妬、怨恨、憎悪、劣等感などのおり混ざった感情）」が育つていました。勿論、それに気付くのはずっとずっと後のことです。

ここでまた、HSPにもどります。おそらく「ルサンチマン」にも程度があつて、ルサンチマン的なものを少しは抱えている人も一定数はいるはずです。私は自分をHSPと述べましたが、その根底には「ルサンチマン」があると思っています。そしてそれは消えることはない。でも、そのことを嫌だと思ふことはありません。はつきりと自覚できていること、同じく自覚できている「ルサンチマン仲間」がいること、自分を支える人がいること、そして自分のこれからの役割がわかったことにより、そこそこ幸せです。

※（次回は九月号になります）
（小林）

小学生お勤めの検定

累計一千個以上の資格試験・検定に合格してい

る、資格マニアの片岡です。

さて、以前ブログで書いたとおり、五月三十一日で五十回目を迎えた**国際知識検定の「国旗アンバサダー」**の一人に選ばれました。これまで国際知識検定は、タイ検定・韓国検定・フランス検定など各国別検定に八か国二十四個合格しています。が、国旗検定を受けたのは初めてです。国旗検定には親子で隣合つて話し合いながら受けられる**「親子受験」**という制度があり、小学校低学年まではこちらを利用し、高学年から一般受験会場に回る受験者が多いのが特徴です。今回私の席の隣も小学生で、少し離れた席でお父さんらしき人が受験していました。今回『世界の国旗カード』で百九十七か国全てを覚え、公式テキスト二冊を丸暗記して臨んで、三つの級に無事合格できました。

●国旗検定



年三回開催。次回は八月三十日（土）に行われます。会場は東大駒場キャンパス。一級から五級まであり、同日に三つの級まで受けられます。

この他にも世の中には様々な検定があります。そこで、保護者面談で盛り上がった、小学生でも受けられる検定をまとめて紹介しておきます。

●恐竜学検定

今、恐竜学が熱い！ 今年四月には福井県立大学に国内初の恐竜学部が誕生して話題に、大型恐竜展も各地で続々開催されて大人気です。昨年始まったこの検定も、第二回の開催が九月二十八日（日）に決まりました。会場試験とオンライン試験が選べ、後者は自宅で受けられます。因みに私は第一回で、初級・中級両方に合格。

●宝石検定

女の子にお勧め。昨年スタートし、八月二十四日（日）に第二回が行われます。今回行われるのは三級・二級ですが、今後さらに上位の級の開催も検討されています。オンライン試験ですので、自宅で受験できます。夏期講習中なので私は出勤前に三級のみ受験する予定です。

●航空検定

一級～三級からなり、コロナ禍で会場試験からオンライン試験に変更されました。写真を見て機種を当てるような問題から、航空力学・航空法など専門的な知識まで。特に二級では、パイロット・CA・管制官・整備士・グランドハンドラーなど様々な航空関係の職種が学べるので、将来航空業界で活躍したい人にお勧めです。私は一級まで取得済。

●元素検定

受付開始三十分程で定員に達してしまう、大人気の検定。一級から三級まであり、小学生から研究者まで受験。講演会がセットになっているのが特徴です。今年は十一月二日（日）東京・水道橋、十二月七日（日）つくば市と、関東では二度開催。私は二級まで取得。

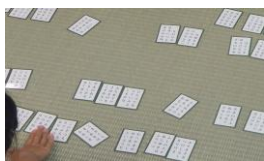
他にも、**ねこ検定・日本城郭検定・チョコレート検定**など、楽しそうな検定がたくさんあります。こうした受験を通して成功体験を積み、世界を広げてみてはいかがですか。（片岡）

百人一首大会

日時 9/23(火・祝)

午後1:00～3:30

会場 創学舎 柏教室



創学舎では、小学生を対象に『百人一首大会』を毎年開催しています。参加者全員に参加賞、優秀者には賞品や表彰状を用意して、皆さんの参加をお待ちしています！